



今富っ子

小浜市立今富小学校
平成29年11月8日
=11月号=



「子どもがモデルとなる学校」に...



今富小学校の学校経営方針として、「子どもがモデルとなる学校」を掲げて取り組んでいます。今回は今日までの子ども達の頑張りを、ここで紹介します。

全校集会。六年生が体育館へ一番に出てきて、静かに整列します。後から体育館へ出てくる下級生は、六年生が静かに整列している姿を良いモデルとして、整列していきます。集会の司会は、六・五年生の学級委員が上手に進めています。

業間マラソン。六・五年生の体育委員が音楽をかけ、みんなが気持ちよく走れるように工夫しています。毎月の全校集会で、目標の一五〇周を走りきった人の表彰を行っています。

あいさつ運動。専門委員会の六年生が、朝早くから校門前に立って、登校してくる同級生や下級生に、元気な声で挨拶をしています。気持ちの良い挨拶の音が校内に響いています。



からは「六年生がかっこよかった」という言葉が聞かれました。

マラソン大会。五年生を中心に、四年生も協力して応援練習に取り組みました。今までのマラソン大会では見ることがなかった素晴らしい応援をしていました。

左の写真を見てください。マラソン大会当日の朝、一人、また一人とグラウンドに出てきて、たくさん子ども達が水取りをしてくれました。一・二年生が少しでも良い状態グラウンドで走れるようにと、六年生から三年生まで、すすんで水取りをしてくれました。

六年生を中心に、下級生の良きモデルになるという意識が芽生えてきました。また、上級生の姿を見て、下級生が育ってきています。しかし、まだまだこれからです。

「子どもがモデルとなる学校」つくり、引き続き取り組んでいきます。



ご意見・ご感想をお聞かせください。

お名前 () <キリトリセン>

校長の独りの言



一〇月二七日から十一月九日までの二週間は、読書習慣になっています。終戦間もない一九四七年に関係団体が話し合い、「読書によって平和な文化国家をつくる」と、読書習慣が設けられたそうです。

今富小学校では、「人とつながる読書活動」に取り組んでいることから、今月、教員によるお話を計画し、担任以外の教員が読み聞かせやブックトークをしています。この本を紹介しようか、どんな内容の本を読んであげようか、それぞれの教員が考えて、本を選んでいくのです。

先日、私も一年生のクラスで絵本の読み聞かせをさせていただきました。とても緊張しましたが、一年生の子も達は、興味を持って聞いてくれ、時にはこちらの振りに併せて、一緒に声を出して読んでくれました。子ども達の読書に対する興味・関心の高さを改めて実感しました。

読書の効果はいろいろありますが、その一つに、言葉をたくさん知ることがあげられます。自分の思いや考えを伝えようとしてもうまく相手に伝えられず、イライラするようになってあります。言葉をたくさん知っていると、自分の思いや考えを上手く表す言葉を見つけて、相手に伝えることができます。学校をはじめ、社会ではたくさんの人と関わる機会が多いです。時にはトラブルになることもあります。そんな時、読書を通して言葉をたくさん知っている人は、言葉のやりとり(話し合い)で解決できます。

ヨーロッパやアメリカで起きているテロ、アフリカや中東での紛争、北朝鮮との関係。いのちのやりとりはなく、言葉のやりとり(話し合い)で解決していけると思えます。

保護者のみなさんには、『図書室だより』で『きんぐ』の協力をお願いしました。子ども達がたくさん言葉を知ることができるようにお子さんと一緒に本を読む時間をとっていただけたら嬉しいです。

「平和な文化国家をつくる」という子どもに育つように...



洋ランの一種『デンファレ』です。原産地はオーストラリア北部からニューギニアになります。花がとても美しく、花持ちも良いので、切り花としてよく使われるそうです。

花言葉は『有能』です。『有能』とは才能のあることを意味し、「努力に勝る才能なし」とも言われます。勉強であれ、運動であれ、習い事であれ、自分が決めたことは途中で投げ出さず、努力して最後までやり続ける。そんな子どもに育つよう、サポートしていける大人でありたいなと思います。



文責：山名 聡